



名称	墨書寄題三原妙正寺詩文
よみがな	ぼくしよ きだいまはらみょうしょうじしぶん
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	典籍
所在地	本町
所有者	妙正寺
員数	7点
指定年月日	昭和38年(1963)12月17日 昭和56年(1981)10月21日 (追加指定)
構造形式・法量	卷子 絹本墨書 3巻 寄題三原妙正寺詩文首巻 28.4cm×395.4cm 寄題三原妙正寺詩文二巻 27.9cm×679.1cm 寄題三原妙正寺詩文三巻 30.6cm×520.9cm (以降追加指定分) 卷子 紙本墨書三原勝覧序 1巻 27.4cm×280.8cm 卷子 絹本墨書山海奇勝 1巻 30.5cm×583.6cm 折本 紙本墨書無量毫光 1冊 34.3cm×20.2cm 折本 紙本墨書心眼豁開 1冊 35.5cm×17.0cm
時代	江戸時代 19世紀
公開状況	特別公開時のみ閲覧可
交通案内	JR三原駅から北西へ約500m

【解説】

寄題三原妙正寺詩文は、三原城主浅野家が寄進したもので、当時の著名な文人や漢学者の詩文が網羅されています。この詩文は、当時の碩学である頼三兄弟(春水・

しゅんぷう きょうへい
春風・杏坪)に依頼して収集したもので、「登覧画図」を上方や江戸に持参して、その地の文人・学者に披見させ、寄題詩を求めたものです。

首巻は、文化4年(1807)2月の「柴邦彦謹題」の詩章に、同年6月頼惟完(春水)が跋を書いたものです。

二巻は、文化6年(1809)10月の頼惟柔(杏坪)の跋をもち、当時京都や諸藩の有名な学者・文人諸家の詩文を集めたものです。

三巻は、同じく諸家詩文を主とし、なかに鈴木芙蓉の画を加えており、頼惟疆(春風)の跋文を添えたものです。

む りょうごうこう
無量毫光は、大坂を中心とした詩の結社で当時の漢学界の一大勢力であった混沌社中の人々による寄題詩で、作者自筆の貴重なものです。